



各 位

2025 年 5 月 14 日

会 社 名 信 和 株 式 会 社

代表者名 代表取締役 則 武 栗 夫

コード番号 : 3447

(東証スタンダード市場・名証プレミアム市場)

問合せ先 常務取締役 執行役員 管理本部長 平 澤 光 良

(TEL. 0584-66-4436)

配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 14 日開催の取締役会において、配当方針の変更を下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 配当方針変更の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、配当による直接的な還元と、企業価値の向上に資する有効な投資案件への支出のための内部留保とのバランスは、事業環境に応じて調整を図ることが必要と考えております。

この点、当社は現行の中期経営計画においては、有望な M&A 案件への投資を通じた企業価値の向上を重要な成長戦略として位置付けております。そこで、当面は現行の配当金水準以上の還元を維持しつつ、投資のための内部留保を充実させるとともに、借入金の返済原資にも充当するため、配当方針を変更することいたしました。

2. 変更の内容

(変更前)

【基本方針】

当社は、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績に応じた株主への利益還元を行うことを基本方針とし配当性向40%以上を目標に実施してまいります。

【内部留保の使途】

内部留保資金につきましては、借入金の返済に充当するほか、一層の事業拡大を目指すための設備投資や人材育成など、有効な投資資金として活用し、企業価値の向上に努める考えであります。

(変更後)

【基本方針】

当社は、企業価値の向上を通じて株式価値を高めていくことが株主の皆様に通ずる利益還元と捉えております。そのために、将来の成長投資や財務基盤改善のために必要な内部留保、配当や自己株式の取得を通じた株主還元のバランスを総合的に考慮したうえで、1株当たり年間配当金の下限を32円とする累進配当を実施してまいります。

【内部留保資金の使途】

内部留保資金につきましては、戦略的 M&A や一層の事業拡大を目指すための設備投資、人材育成など、有効な投資資金として活用し、企業価値の向上に努める考えであります。そのほか、借入金の返済に充当することを想定しております。

3. 中期経営計画（2025 年 3 月期～2029 年 3 月期）における資本政策の基本方針

中期経営計画（2025 年 3 月期～2029 年 3 月期）における資本政策の基本方針については配当性向目標 40%以上としておりましたが、今回の配当方針の変更により 1 株あたり年間配当金の下限を 32 円とする累進配当と変更させていただきます。

※中期経営計画の変更箇所は別紙添付

以 上

中期経営計画における目標

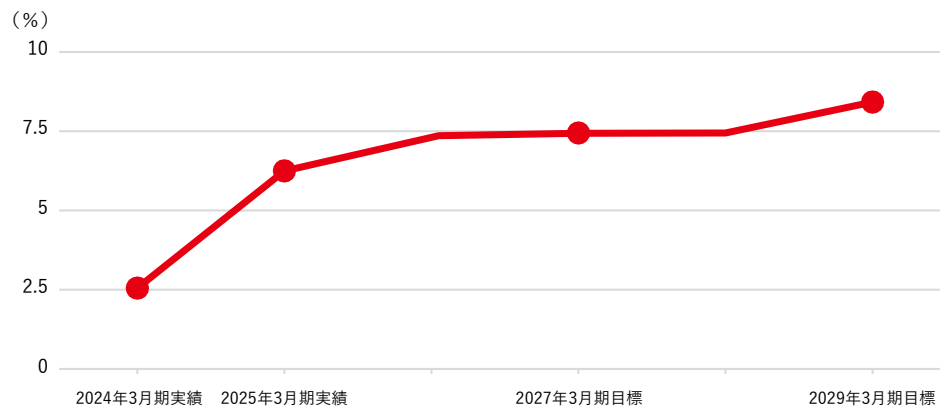


	2025年3月期 実績	2027年3月期 目標	2029年3月期 目標
売上収益（百万円）	17,503	17,500	20,000
営業利益（百万円）	1,622	1,900	2,400
EBITDA（百万円）	2,161	2,500	3,000
EPS（円）	70.17	90.51	114.57
ROE	6.3%	7.4%	8.5%
1株当たり年間配当金	32円	累進配当・下限32円	

資本政策の基本方針

1 ROE目標
中期経営計画最終年度
8.5%

中期経営計画期間中のROE目標推移



2 配当方針
累進配当・1株当たり年間
下限32円

中期経営計画期間中の1株あたり年間配当金見通し

